

読売提言

# 医療改革



読売新聞



YOMIPACK

135  
読売新聞



# はじめに

医師不足により、各地で病院が閉鎖されたり、産科や小児科が廃止されたりしています。妊婦ら救急患者が救急車を呼んでも、搬送先が決まらない「たらい回し」も後を絶ちません。いざという時、きちんと診てもらえるのか、多くの人が不安を感じています。

一方、医師の側も、満足な休みもないまま、昼夜の別なく多数の救急患者を治療するなど、過酷な勤務を強いられる例が目立っています。医師不足で、患者、医師双方から悲鳴が聞こえます。

こうした医療の危機に対処するため、読売新聞社は2008年10月、改革への提言をまとめました。

提言は、医師不足や救急医療の問題ばかりでなく、質の高い医療を行うための専門医養成システム、増える高齢者や認知症患者をケアする体制の整備など、医療・介護全般にわたる広範な内容となっています。08年4月の本紙「年金改革提言」と合わせて、超少子高齢社会にふさわしい医療・介護・年金の社会保障

のあり方を提案するものです。

こうした提言を行ったのは、医療・介護は、国民が安心して生活するために欠かせない社会基盤であり、将来にわたって安定的に確保しなければならぬと考えるからです。2008年に、政府にどのような政策を望むかを尋ねた内閣府の世論調査でも、「医療・年金など社会保障の構造改革」が72・8%でトップでした。

医師不足を解消するため、読売新聞は、医師を全国に計画的に配置することを提唱しました。また、医療・介護の人材確保をはじめとする必要な施策には、思い切った財源を投入するよう訴えました。

今回の提言には、読者から多数の反響をいただいたほか、舛添厚生労働相が「医療改革のたたき台になる」と語るなど、政界、医療界からも注目を集めました。提言をきっかけに論議が広がり、医療の改革が進むことを願っています。

読売新聞東京本社医療情報部

## 読売新聞社社会保障研究会

東京本社の編集局、論説委員会、調査研究本部を中心に、専門記者で構成。有識者、政治家、省庁の担当者らとの意見交換や、医療、介護現場の取材を通じて、今回の改革案をまとめた。

メンバーは、次の通り。

▷編集主幹・老川祥一（座長）▷調査研究本部長・白石興二郎▷編集局長・伝川幹▷調研本部総務・杉山美邦▷編集局次長・五阿弥宏安▷医療情報部長・前野一雄▷論説委員・保高芳昭▷編集委員・南砂、安部順一▷調研本部・北原久史、笹森春樹、三島勇▷医療情報部・田中秀一、田村良彦、山口博弥、利根川昌紀▷社会保障部・阿部文彦、猪熊律子、内田健司、本田麻由美、安田武晴▷政治部・高木雅信、古川肇▷経済部・藤本昌弘▷社会部・井深太路、小林篤子▷科学部・長谷川聖治、鈴木敦秋、増田弘治▷地方部・長谷見昇吾、河合正人、菅野薫

この小冊子「ヨミパック」は、読売新聞の2008年10月16日朝刊に掲載した「医療改革提言」、およびその後11月末までの関連記事を採録しました（一部加筆・修正。文中の肩書、年齢などは掲載時のものです）。



ヨミパックは医療、健康、年金、教育などの記事について発行しています。詳細は「ヨミウリ・オンライン（YOL）」（<http://www.yomiuri.co.jp/>）の「小冊子プレゼント」をご覧ください。

# YOMIPACK



視覚障害などの理由で、活字のまま本誌を利用できない人のために、営利を目的とする場合を除き、「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の制作を認めます。制作された後に読売新聞東京本社宣伝部へご連絡ください。

医療改革 読売新聞社の提言…………… 2

医師を全国に計画配置／公的派遣機関を創設／  
介護報酬引き上げ…………… 13

医療の崩壊を防げ 5つの緊急対策…………… 4

- 医師不足解消 若手医師を計画配置しよう…………… 4
- たらい回し防止 開業医も病院救急に積極参加…………… 6
- 病院勤務医 激務に見合う給与引き上げ…………… 8
- 高齢者ケア 介護の職員・施設に手厚い支援を…………… 10
- 社会保障費 抑制一本やりを転換せよ…………… 11

信頼の医療へ 構造改革5本の柱…………… 12

1 医師を増やし、偏在をなくそう…………… 13

- 医師養成数をOECD並みに……………
- 医局に代わる医師配置機関を創設……………
- 女性医師・看護師が働きやすい環境に……………
- 麻酔医不足解消に歯科医が協力……………
- 看護師らに医師業務の一部を移す……………

2 医療機関の役割分担と連携強化…………… 18

- 病院を集約し、機能を充実させよう……………
- 入院は病院、外来は開業医で……………
- 24時間型救急「ER」400か所に整備……………

3 医療の質を高め、安全性を確保…………… 20

- 技量の高い専門医を育成しよう……………
- 家庭医の研修を開業の条件に……………
- 安全確立へ医療事故調を設置……………
- 科学的根拠に基づく健診を……………

4 高齢者医療を介護と一体で充実…………… 22

- ケア付き住宅を10年で倍増……………
- 往診、訪問看護で在宅療養を支援……………
- 急増する認知症に国を挙げて取り組み……………

5 給付と負担の新ルールを作れ…………… 26

- 必要な施策に力ネを惜しむな……………
- 健康保険の財政を破綻たんさせるな……………
- 社会保障番号と情報共有で無駄を削減……………
- 国民も医療にコスト意識を持つよう……………
- 診療報酬の仕組みを見直せ……………
- 医療臨調を創設して集中的に改革……………

「医療は公共財」の視点を…………… 30

提言の実現に当面1・6兆円…………… 31

医師不足招いた「自由選択」…………… 32

社説・国民の不安を払拭する時だ…………… 34

読売提言・評価と課題 有識者に聞く…………… 36

読者の意見と質問…………… 38

論陣・論客・提言をどう読む…………… 40